

ひまわり

夏らしく、丈高く大輪のだらかなよい花。この大きさを愛し度い。これでは一般の菊の花との類似を注意しよう。

種子をも忘れずに観察させよう。

第二週

朝顔の花と實。

(年少組参照)實は子供達に一しよに收穫する事によつてより具體的に活動的に觀察出来る。黒い一つの種子を先生がきつてみて中の子葉を指示し、これが種子をまくこのびてあさがほの雙葉になる事を話す。

おみこし

(年少組お祭参照)おみこしのかざりの美しさを観たあこ

手
技

第一週

自由畫 三回

自由畫でかゝせてみる。するま子供のみるまころ、一人一人についてのみ方を知る上の好資料にもなる。

第三週

ふよう

あふひ科の植物である。この頃咲く木の花として典型的なものであらう。ぬりゑにある處からそれはこの花であるまいふ程度にする。

梨

實りの秋、色のいゝ果物が多い。梨に限らずようやく色つきはじめた柿もそれから栗も同じ意味をもつ材料として取扱ふ。一つには觀賞、一つには種子の比較。朝顔の時の如く中の子葉をみせる。幼稚園で味はひはまうであらうか。

夏休み中の見聞畫

年少組の時にもかゝせたがこの期になれば觀察範圍も廣

く、且つ細くなるのでなかなか面白いものがいつも澤山に出来る。

クレヨンばかりでなく毛筆や繪具で大きくかゝせるものもよい。三回あれば一組を三分してかはるゝ大きな紙にかゝせるもよい。

ぬりゑ

ヒマハリ 一回

ヒマハリは栽培しやすい草花である、幼稚園の庭に數本あるを第二期保育がはじまる頃には雄大な姿がみられる。花のまわりは黄色に中央の種のところはうす茶色に葉は緑を幼児と一緒に觀察してぬらせる。

第二週

自由畫 二回

景色、果物、草花、人物などあるが幼稚園の庭の一部、花園の花數輪の寫生でもよい要するに部屋の中で机の上でかくさいふよりも出来だけ大きなものをかゝせるさいふに主點をおきたい。

鉄仕事

朝顔 果物 二回

朝顔は年少組同様に花壇の朝顔の前にいつてよく觀察したものを切つたり蔓の一部分をこりてお部屋でこれを見ながら切つてもよい。

果物は柿、栗など季節のものをえらんで切紙にする。

第三週

自由畫

けいぎょう 一回

この自由畫は別にけいぎょうに限つたものでない。秋草の中で手易く得られ且幼児が畫くのに都合のよいものを題材として畫かせればよいのである。

ぬりゑ

フヨウ

うす桃色、桃色 白なきあれぎうす桃色にぬる事にする。

粘土 お月見お供へ用

おだんご 果物

おだんごも年少組と異り大きさもほゞそろへて十三つくり、果物も出来るだけ多くの種類のものをつくる事にす

る。

製作 敷物模様

これは誘導保育案による人形の家の敷物の模様である。幼児と相談しながら秋のこまなれば種々の果物の模様なご適當である

大體敷物と同形同大のハトロン紙なごに下がきの心積りで、各自少しづつ交代でかゝせる。ざくろありバナナあり柿あり梨ありリンゴありさいふやうにいろ／＼の果物がかきならべられる事でありませう、下がきのつもりでも色のこまもあればこれにもクレヨンなごにて色をつける。

文部省主催保育講習につきましては七月六日の官報に發表されてをりますが本誌廣告欄にもその抜萃をのせましたからごらん下さい。

昨年八月十日、英國オックスフォードに開催された

第八回世界教育聯盟會議に帝國代表として出席、幼児教育部會委員として活躍せられた株式会社フレール館副社長高市慶雄氏は、爾來、英、佛、伊、白、獨、澳、波、瑞、芬等、歐洲各地の教育狀況、殊に幼児教育に關する調査視察を遂げ、猶、フレールに關する幾多の珍しき文獻、遺物の緊集を了るご共に、歐洲に於ける同學の諸權威と親しく一學徒として研究する所なり、歸途米國經由、同國の幼児保育狀況の實際を視察し、郵船淺間丸にて去る六月十七日歸朝されました。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

尙七月二十六日、文部省主催保育講習の午後後より東京女子高等師範學校講堂に於て高市慶雄氏の「歐米の幼児教育視察談」がございします。御聽講を望みます。